

「JALなでしこラボ」誕生

～女性をはじめとする多様な人財の活躍を強力に推進～

2015年9月30日

第15129号

JALは、このたび新たに「JALなでしこラボ」を設置し、女性をはじめとする多様な人財の活躍をグループ全体でより一層力強く進めてまいります。

2014年度以降、JALグループでは、多様な人財の活躍推進を経営戦略の一つとして位置づけ、女性をはじめとするさまざまな人財が力を発揮し活躍できるよう、人財育成や支援体制を強化してまいりました。こうした中で、2014年度は「なでしこ銘柄」に初めて選出されました。しかしながら、JALグループ全体で女性社員の比率が47%にも上る一方で、女性管理職比率は15%にとどまっています。「真に女性が活躍する企業」となるためには、まだ道半ばの状況です。

今回発足する「JALなでしこラボ」では、ダイバーシティを実現する上での第一歩として、「真に女性が活躍する企業」となるべく、以下の活動を行ってまいります。

1. 女性活躍推進 目標数値・行動計画のとりまとめ

JALグループでは、JALと国内の連結子会社合計44社（300人以下の企業を含む※1）、すべてにおいて、目標数値や行動計画を取りまとめ、厚生労働省のサイトなどを通じて社外に公表し、グループ全体で女性の活躍推進を進めます。

（※1）女性活躍推進法案成立に伴い、301人以上の社員を有する企業は、行動計画の策定などが義務付けられていますが、JALグループでは300人以下の連結子会社も対象として取り組みます。

2. 意識改革とワークスタイル変革

これまでの固定観念を打ち破り、男性管理職、および女性自身の意識改革と、ワークスタイルの変革により、時間あたりの生産性を高めてまいります。誰もが働きやすい環境を整備することで、年齢・性別・国籍に関わらず、多様な人財がより一層活躍できる会社を目指します。意識改革については、2015年7月1日に開催した「女性活躍推進・ワークスタイル変革フォーラム」をはじめとして、女性の活躍推進はもとより、ワークスタイルを一人一人が考え、意識を高める場としてのワークショップを重ねてまいりました。既に間接部門に所属するグループ社員約2,000名が参加しており、今後は全国の各事業所に展開します。さらに、10月2日からは一人一人が働き方を変えていく上で必要なスキルを身に付ける「スキルアップワークショップ」を約5,000名のグループ社員を対象に開始します。



3. 社内研究プロジェクト

グループ各社社員で構成される、社内研究プロジェクトを開始します。プロジェクトでは、多様な人財が活躍するためには何が必要か、チームに分かれて研究を行い、JALグループ内での実現に向けた提言を行います。そのうえで、他企業や大学など産学官との連携も深めてまいります。

(※2) 性別、年齢、国籍に関わらず、誰もが活き活きと働ける環境を目指す取り組み。

(※3) 男女の意識改革やワークスタイル変革の完遂を目指す取り組み。

その他、女性活躍推進の取り組みを順次進めてまいります。

以上

JALなでしこラボ 担当役員 大川 順子 (取締役専務執行役員 コーポレートブランド推進部担当)



どのような職場においても、女性がもつ価値観を埋もれさせないためには、男女双方の考え方や、仕事・職場の仕組みの進化、すなわちワークスタイルの変革が必要です。女性の働きやすさのために男性が負担を感じるのではなく、双方の理解のもとに双方の強みが発揮できることは、多様化したニーズへの対応はもちろん、女性がこれまで以上に活躍することになり、女性のさらなる自己成長にもつながります。「JALなでしこラボ」を軸に、そんなJALグループを創っていきたいと思います。

JALなでしこラボ 所長 植田 英嗣 (執行役員 人財本部人事教育担当)



私たちは、女性をはじめとする多様な人財の活躍推進を経営戦略の一つに位置づけ、今まで以上に異なる経験や、価値観、新たな視点を持つ多様な人財の力を総動員し、活力あるJALグループを目指しています。「JALなでしこラボ」は、その原動力となるチームです。グループ内の会社の垣根をこえて、チームワークを発揮しながら、JALグループの女性活躍推進に力強く取り組んでまいります。